

愛知県議会議員

かわい洋介 県政レポート

2024年、議会において河合洋介が行った質問、提言を特集します。



馴れ合い・しがらみ一切無し！すべての人に居場所と出番のある共生社会。やさしい社会。東浦町、阿久比町から愛知県を考える。謙虚に大胆に、知多半島を、そして日本を考える。

愛知県ファミリーシップ宣誓制度

2024年4月から、愛知県においてファミリーシップ宣誓制度が創設され、運用が開始されました。この制度は、同性カップルや、事実婚状態の異性、そのお子さんなどを含め、愛知県がそのパートナーやファミリーとしての関係性を証明する、という制度です。

法律上の婚姻関係が結べない状況によって、公的制度、民間のルールなどで不利益を被っている現状を改善する、自治体レベルの制度であり、全国的にも広がっています。

私河合洋介は、性的指向や性自認による差別は絶対にあってはならない、という強い思いを持って、2016年に愛知県議会本会議における代表質問にて、こうした制度創設の必要性を訴えました。当時、**県政史上初めて知事が同性パートナーシップについて言及し、そこから県として制度の研究がスタートしました。**

私はその後も、積極的な提言を続け、度々議会において取り上げてきました。県の人権推進課と幾度となく意見交換を行い、2024年4月の運用開始に向けて、制度が形作られていきました。



時間がかかりましたが、何とか制度をスタートさせることができました。**SOGI**（そじ、と読みます。Sexual Orientation & Gender Identityの頭文字をとった言葉）によって差別のない社会の実現に向けて、大きな一歩を愛知県として踏み出しました。

ここ数年で、同様の制度を導入する自治体は増えています。2016年当時、県内54市町村のうち、2市町のみであった導入自治体は、愛知県の検討も後押しとなり、本年3月1日時点で28市町が、そして今回、愛知県の制度導入のタイミングでも増加しました。大きな広がりを見せています。



大村秀章愛知県知事は、2024年3月の愛知県議会本会議、私の質問に対する答弁の中で、「今制度の対象は幅広く、都道府県レベルでは初で、**より多くの人たちを幸せにすることができる。**」「**県が導入すること自体が、性の多様性に対する大きな啓発**となり、県民の理解につながる。当事者の方々にとっても、自己肯定感につながることになり、**大いに意義のあることだ**と考えている。」と発言し、引き続き誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくりに向けて取り組

んでいく旨を示されました。

まさに、我々の提言が実現したものと、大いに評価し、大変嬉しく思います。

県営水道の地震対策

2024年1月1日に発災した能登半島地震を踏まえた、県営水道の地震対策について質問をしました。この地震では水道の復旧作業において課題が浮き彫りになりました。

まさに命の水です。生活に直結する水道事業について、改めて指摘しつつ、被災地支援のために現地入りしていた経験等も踏まえて、愛知県が今後大きな地震に見舞われた際などに、活かしていくことについて質問、提案をしました。



金田企業庁長は、能登半島地震の支援活動を通じて見えてきた課題を、「水道施設が大きな被害を受けたことで、応急水の入手先が遠隔地になった上に、道路の寸断もあり、作業が滞ったこと。支援に入った職員の宿泊施設が無く、負担が大きかったこと。」と挙げました。

本県の対応としては「**発災7日間で必要とされる住民一人当たり180ℓの水**を市町とも連携し蓄えておくため、応急給水の起点施設となる広域調整池13池を県内に広く整備している。」と示し、

「災害時には住民が県の水道管から直接給水できるよう、避難所指定の学校や公園に、臨時の蛇口を設置するための**応急給水支援施設を県内352か所**に整備、定期的に受水団体と合同訓練を実施している。」と示されました。

また「尾張旭市の水道事務所内には、**県外からの応援職員70名程度を受け入れる準備**もあり、水道災害活動拠点としてさらに整備していく。」とし、断水が長期化した場合も想定し、万全の態勢を整えていくとも答弁されました。

私からの提案についても大いに組み入れてくれました。11ある県内の浄水場の耐震化を順次進めている他、浄水場間で水を融通する連絡管の建設も併せて進めていくこと。管路の耐震化は、元々耐震性の高い鋼管を使用しており、耐震適合率は現状約9割。バックアップとしての管路の複線化も進めていく。など多くの好材料を示されました。

骨髄移植支援 日比プランの進化

友人でもある**日比健太郎名古屋市の会**の**天逝から7年**が経過しました。この間の支援の劇的な広がりを確認しつつ、大学の公欠制度の導入を求めるなど、日比プランはまだ活着していると、積極的な提案を行い、新聞にも大きく取り上げられました。

骨髄移植、骨髄ドナーへの支援を引き続き求めて行きます。



ご意見・ご感想をお寄せください。

愛知県議会議員 河合洋介 四期目もますます加速中！

河合洋介事務所 〒470-2101 東浦町森岡前田 24-14

JR 武豊線 尾張森岡駅、目の前 (0m)

電話：0562-84-4411 HP：kawai-yousuke.com

メール：kawai@kawai-yousuke.com

Facebook：かわい洋介 Instagram：かわい洋介_公式

